



「素敵な憲法は変えないよね」

今こそ市民が声をあげ、意見広告ポスターを張りめぐらし、
憲法9条破壊の 新たな段階に 立ちむかおう

2021. 05. 3付「九条の会声明」より一部引用

戦争への痛切な反省の上に立って 1946 年 11 月に公布された日本国憲法は、今年の5月3日で施行 74 年を迎えました。前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのない」ようにと決意して9条を定めたこの憲法を敵視し、改憲策動を続けてきた安倍晋三政権の後を継いだ菅義偉政権も憲法破壊の政治を一層進めようとしています。バイデン米政権発足後初となる4月 16 日の日米首脳会談での共同声明により、日米軍事同盟強化と憲法9条破壊は新たな段階に入りました。

声明は、中国による東シナ海や南シナ海での覇権的行動の抑止を理由に、日米軍事同盟の強化で対抗することを宣言しましたが、これは米中の軍事的緊張を高め、日本を巻き込んだ戦争の危険を呼び込むものです。

憲法9条の精神のもと、国際法に基づく道理を尽くした平和的な外交交渉で問題打開の道を拓くべきです。今まさに、日本国憲法の価値を再認識すべき時です。全世界の人々がコロナ禍で苦しむ中、軍備の拡大や戦争に明け暮れていることは許されません。

憲法前文の「 全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する 」との理念は、コロナ禍に苛まれる人々の命とくらしを守る政治を実現する上で大切な柱です。 憲法施行後間もなくから始まった明文改憲の企てを、2度と侵略と暗黒の政治

を許さないとの固い決意のもとに、国民は 74 年にわたって阻止し続けています。ところが、菅政権は、一方で改憲案の国会での審議をすすめながら、「敵基地攻撃能力」の保有、日米共同声明により、憲法破壊を実質的に押し進めています。

自民党の下村博文政調会長は今年憲法記念日の 5 月 3 日、改憲派の集会で、「今回のコロナを、ピンチをチャンスとして捉えるべきだ」と語りました。いま、全国が、コロナ禍の 1 日も早い収束を願う中でこの発言は許せません。今こそ、改めて、市民が声をあげるときです。菅改憲NO! の声を、地域草の根から、あげましょう。野党共闘が成果を上げています。市民の力で、来る総選挙では改憲反対勢力を大きくし改憲を断念に追い込みましょう。

これから作成される「ポスター意見広告」を市民に目に見える運動の一つとして活用しましょう。

<意見広告ポスター募集要項>

- この意見広告ポスターは、趣旨に賛同する個人、団体から拠出される募金をもとに作成されます。
- ポスターには団体名のみを掲載し、個人名は掲載しません。
個人参加料 一口 500円(出来る方は、2口以上何口でもお願いします)
団体参加料 一口1000円(9 条の会以外の団体応募も大歓迎、大口募金も含めてよろしくお願いします。)
- 募集締め切り予定は、7月 15 日(木曜)、
ポスター配布は 8 月より開始し、屋内、屋外ともにA3、A2 の 2 種類を基本に、希望に応じた配布を予定
- 文言・デザインは、事務局を中心に検討し決定
- 呼びかけ代表団体「静岡県憲法九条の会」を予定
- ポスター意見広告 事務局 (ポスター意見広告西部ブロック事務局)

連絡先

〒431-0202 浜松市西区坪井町 10 那須田俊夫 電話/Fax 053-447-4881 浜松しおかぜ9条の会

裏面はポスター予定の一案です。皆様のご意見などをお寄せ下さい。